

埼玉県職員仕事紹介オンラインセミナー

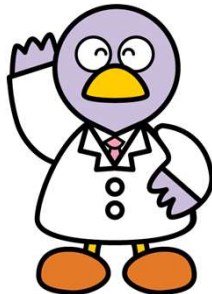
埼玉の医療分野にもSDGsを！

～誰一人取り残さない社会に向けて～

令和6年1月10日
埼玉県保健医療部疾病対策課

保健医療部

少子高齢化の進展や疾病構造の変化など、社会状況の変化に対応した保健及び医療政策の推進を図っています。



構成課所

保健医療政策課、感染症対策課、国保医療課、医療整備課、医療人材課、健康長寿課、疾病対策課、生活衛生課、食品安全課、薬務課、保健所、衛生研究所、高等看護学院、動物指導センター、食肉衛生検査センター など

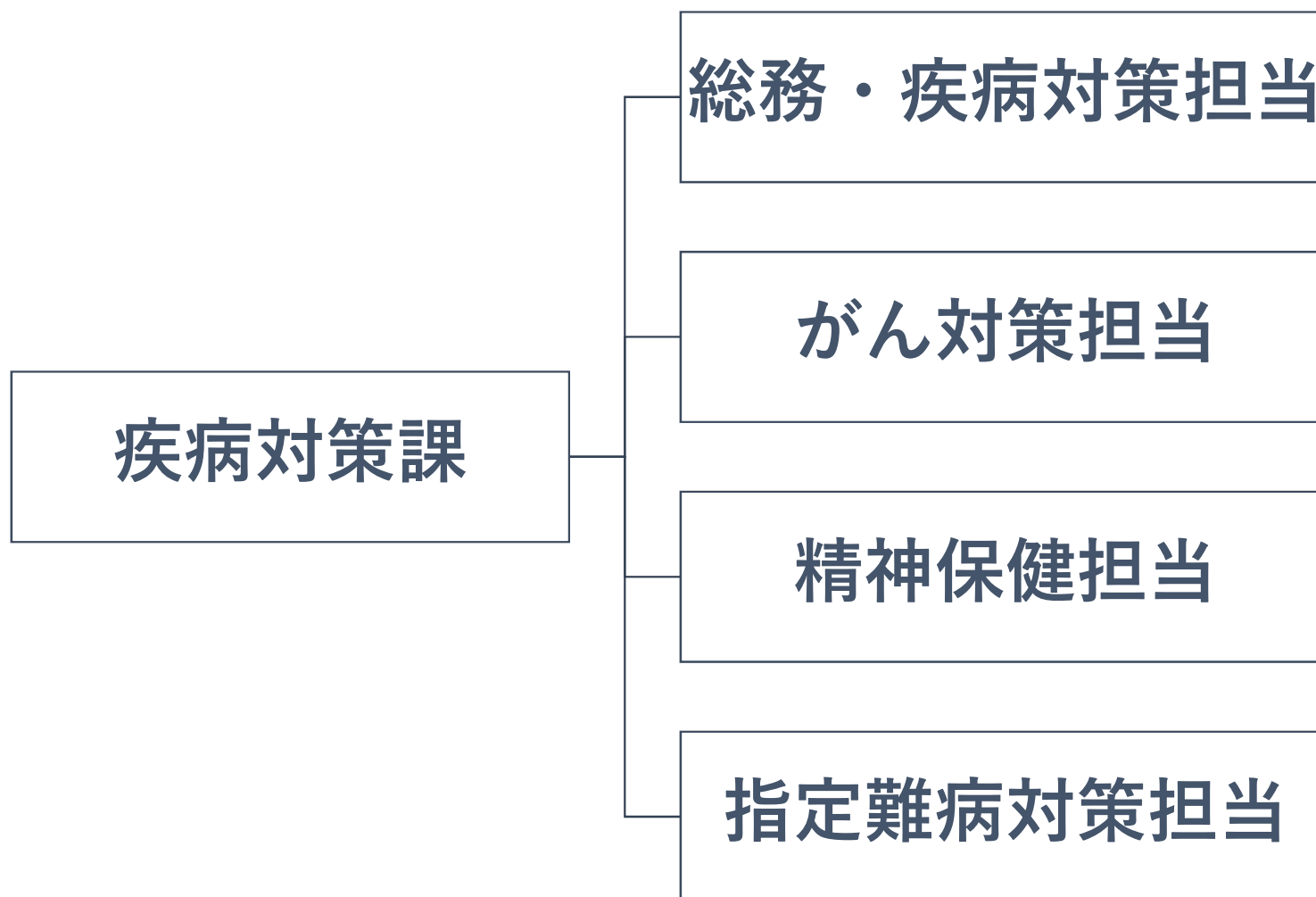
活躍している職種

一般事務／医師・歯科医師／獣医師／保健師／薬剤師／管理栄養士／看護師／精神保健福祉指導職 など

主な業務

保健医療・公衆衛生分野における法律に関することや計画策定、企画・調整などを行っています。
また、地域住民の健康や衛生を支えたり、調査研究・試験検査などを行ったりもしています。

疾病対策課の担当



疾病対策課の担当

総務・疾病対策担当

- 1 肝炎対策基本法の施行（他機関において所掌するものを除く）に関する事
- 2 アレルギー疾患対策基本法（他機関において所掌するものを除く）に関する事
- 3 移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律の施行に関する事
- 4 臓器の移植に関する法律の施行に関する事
- 5 健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法の施行（他の機関において所掌するものを除く）に関する事

がん対策担当

- 1 がん対策基本法の施行（他の機関において所掌するものを除く）に関する事
- 2 埼玉県がん対策推進条例の施行に関する事
- 3 石綿健康被害救済法に関する給付申請及び石綿健康被害に関する健康相談に関する事

疾病対策課の担当

精神保健担当

- 1 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律の施行（他の機関において所掌するものを除く）に関する事
- 2 自殺対策基本法の施行（他の機関において所掌するものを除く）に関する事
- 3 ひきこもり対策に関する事
- 4 心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律の施行（他の機関において所掌するものを除く）に関する事
- 5 精神保健福祉士法の施行に関する事
- 6 アルコール健康障害対策基本法の施行（他の機関において所掌するものを除く）に関する事
- 7 ギャンブル等依存症対策基本法の施行（他の機関において所掌するものを除く）に関する事

指定難病対策担当

- 1 難病の患者に対する医療等に関する法律の施行に関する事
- 2 原子爆弾被爆者対策に関する事

「医療分野にもSDGs」とは？

3 すべての人に健康と福祉を

→病気になるしない 専門性の高い医療を受けられる



10 人や国の不平等をなくそう

→症例の少ない病気になっても医療費の補助が受けられる



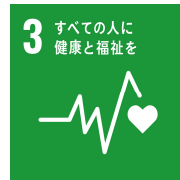
11 住み続けられるまちづくりを

→どこに住んでいても高度な医療を受けられる



本日の説明

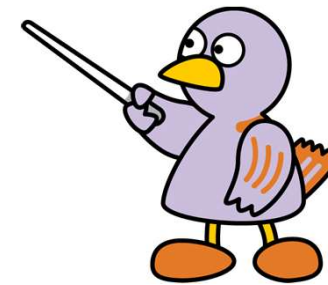
- がん対策



- 心疾患・脳血管疾患（循環器病）対策



- 指定難病対策



コバトン

本日の説明

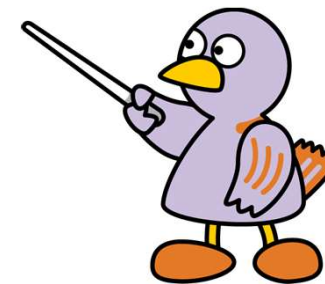
- **がん対策**



- **心疾患・脳血管疾患（循環器病）対策**



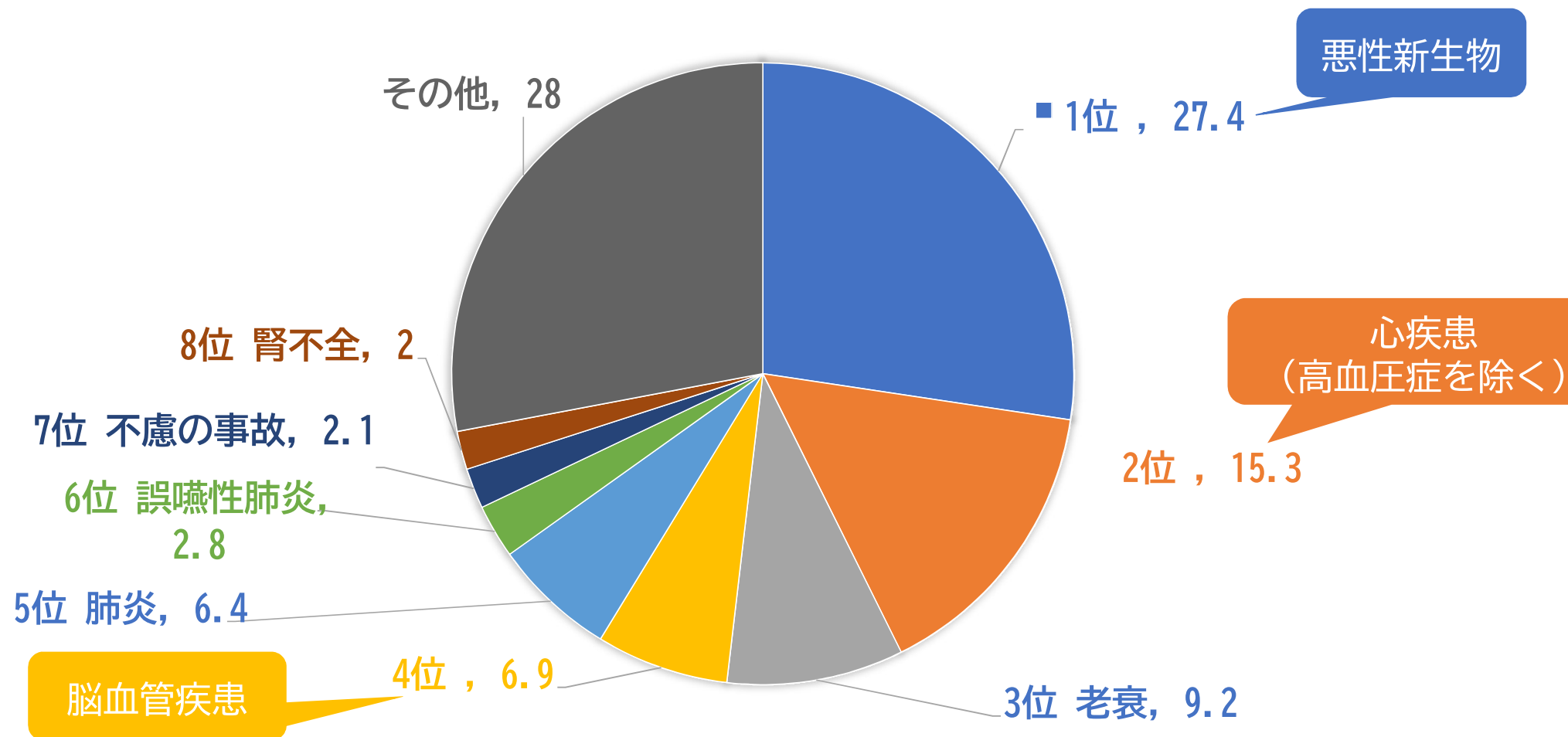
- **指定難病対策**



コバトン

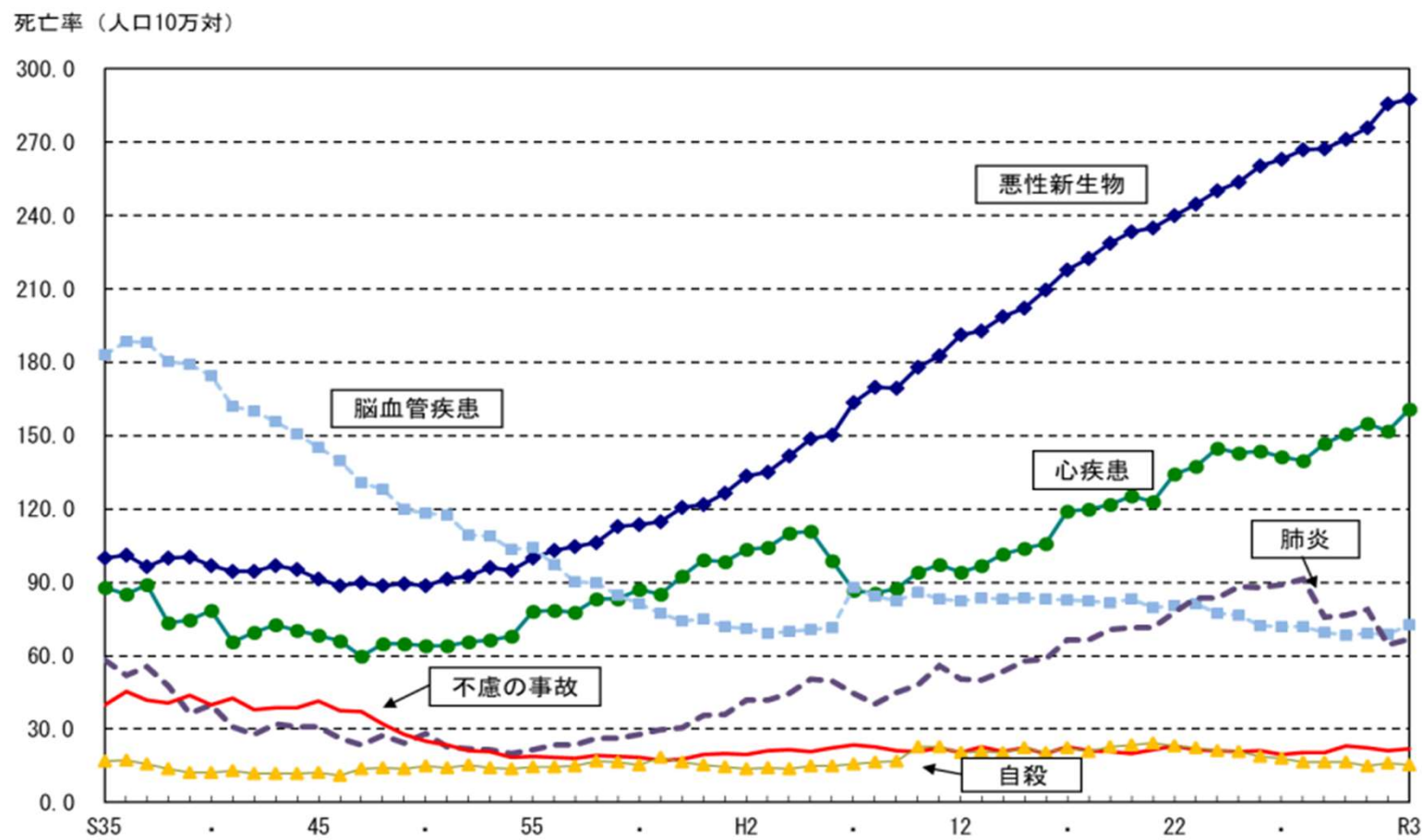
埼玉県のがん対策

埼玉県の死因別死亡割合（2021年人口動態統計）%



埼玉県のがん対策

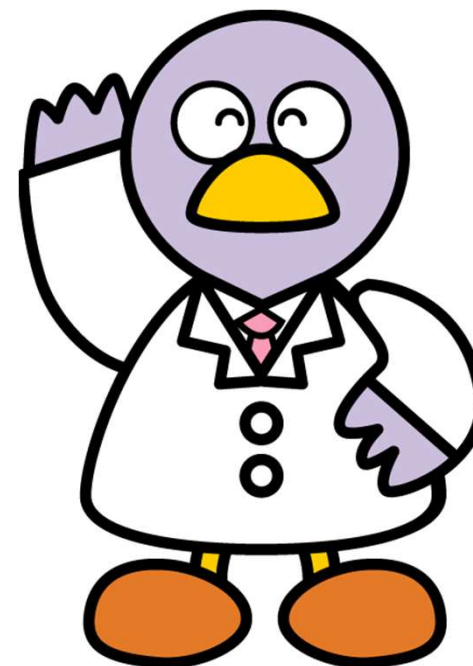
埼玉県の主要死因別死亡率の年次推移



令和3年埼玉県人口動態概況（確定）

埼玉県のがん対策

- ①ならないために
 - まず、知っていただく
 - 検診受診の勧め
- ②医療の充実のために
 - 中心となる病院とその役割
- ③自分らしく過ごすために
 - 治療と仕事の両立支援
 - アピアランスケア
 - 妊孕性（にんようせい）温存療法



埼玉県のがん対策

①ならないために

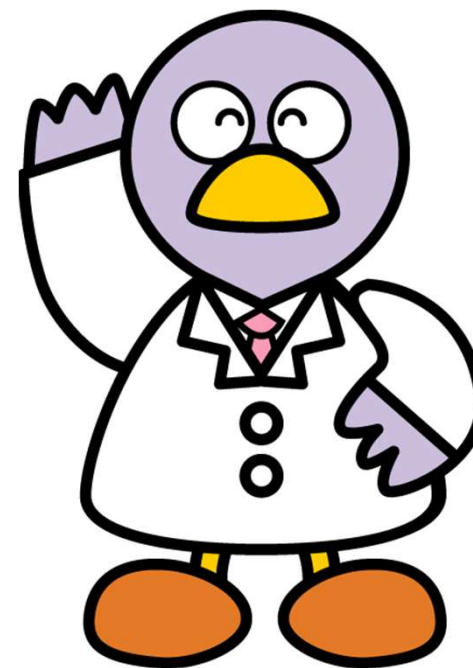
- まず、知っていただく
- 検診受診の勧め

②医療の充実のために

- 中心となる病院とその役割

③自分らしく過ごすために

- 治療と仕事の両立支援
- アピアランスケア
- 妊孕性（にんようせい）温存療法

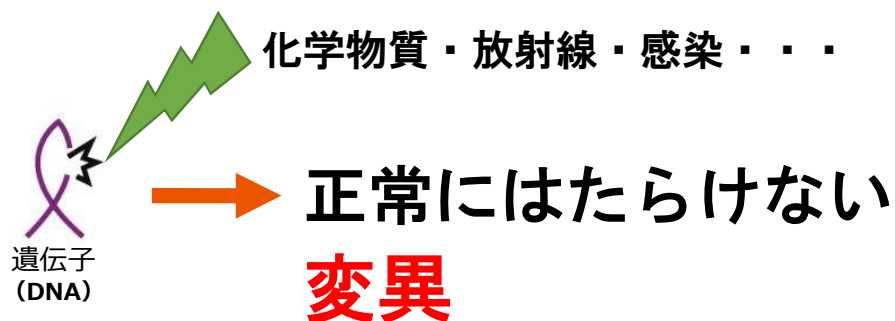


埼玉県のがん対策

正常な細胞のはたらき

細胞は必要があれば分裂してその数を増やし、必要なだけ増えたら分裂をやめる。

この機能は細胞の核の中にある**遺伝子（DNA，デオキシリボ核酸）**によりコントロールされている。

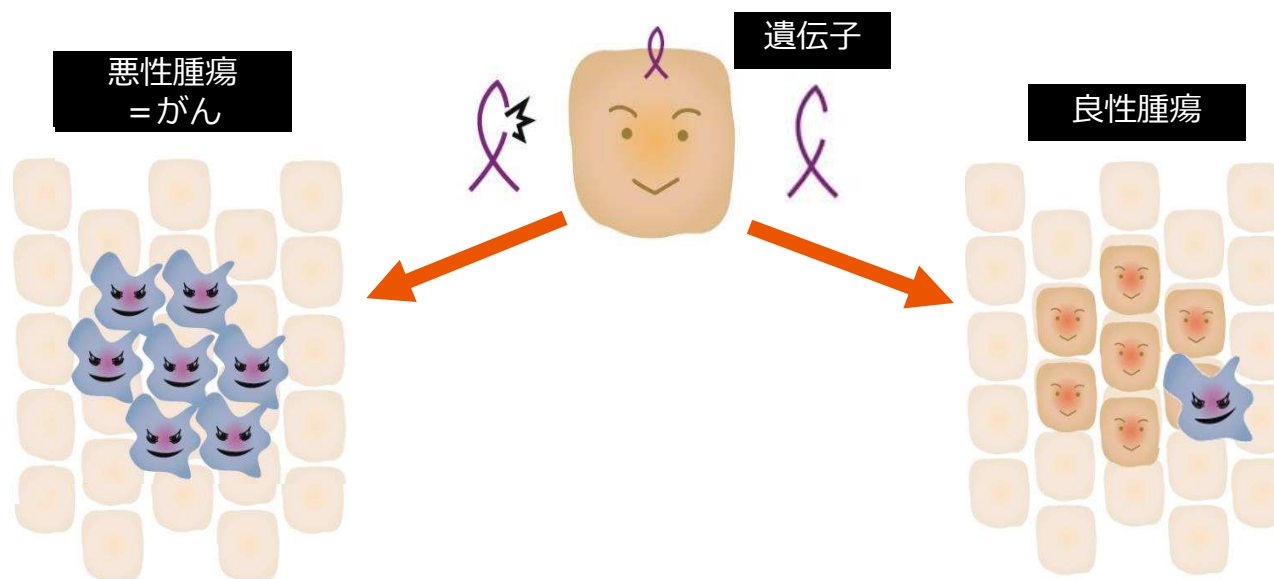


分裂がとまらない
細胞が死なない ⇒ 細胞がどんどん増える ⇒ **腫瘍**の誕生

埼玉県のがん対策

腫瘍とは

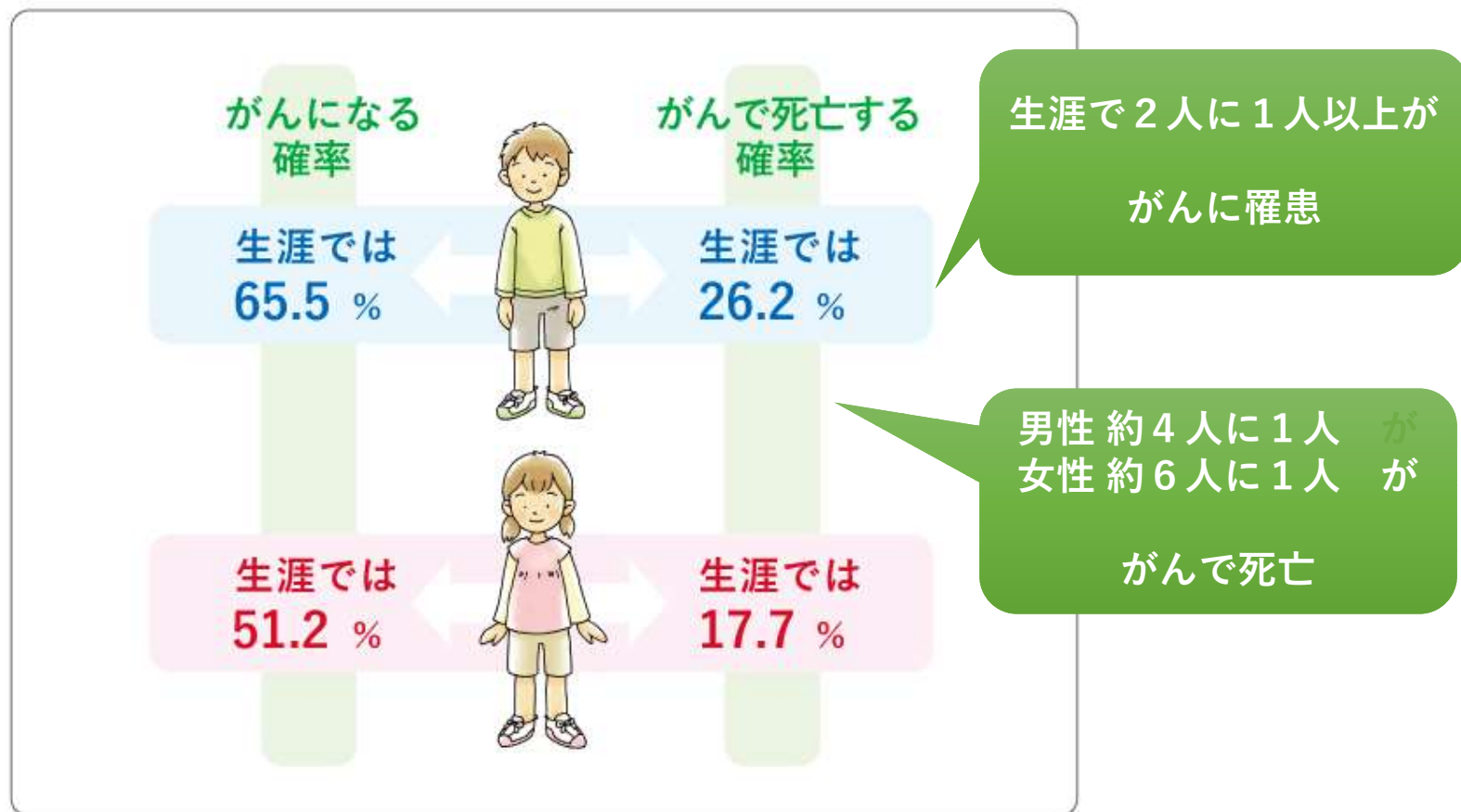
- ・自分たちで勝手に増殖を始め、コントロールがきかなくなった細胞のかたまり
- ・何らかの方法で取り除かない限り、もとに戻ることはほとんどない



速いスピードで**無制限**に増殖する
まわりに**浸み込む**ように広がる
(**浸潤**する)
離れたところに飛んでいく
(**転移**をする)

増殖のスピードは**ゆっくり**
周囲を圧迫するように広がるが、
浸潤や**転移**はしない
できた場所や大きさによっては
命にかかわる場合がある

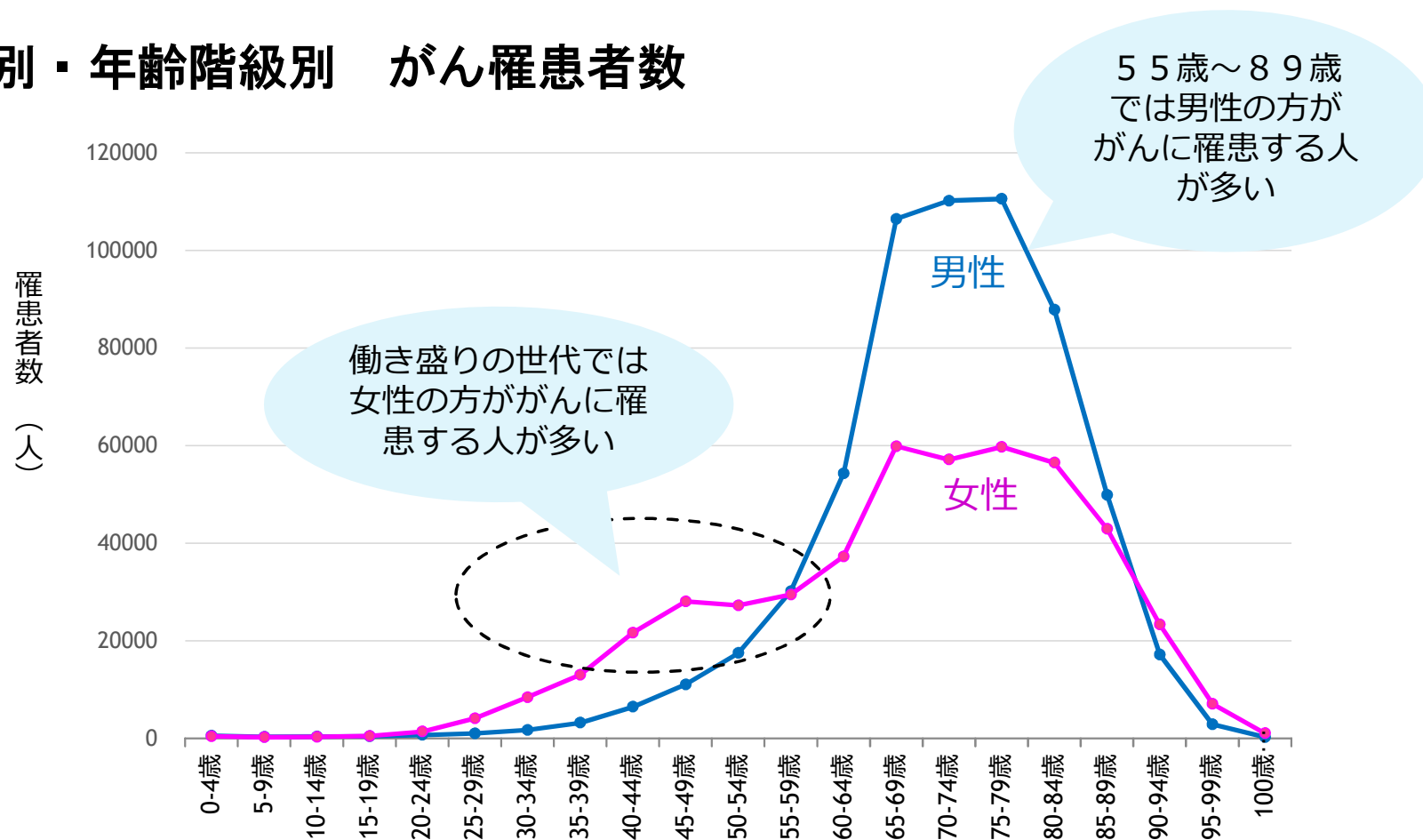
埼玉県のがん対策



2019年データに基づく累積罹患リスク および 2021年データに基づく累積死亡リスク
国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」より

埼玉県のがん対策

性別・年齢階級別 がん罹患患者数



全国がん登録に基づく全国がん罹患数 (2016年～2017年)

埼玉県のがん対策

罹患数・死亡数が多い部位（男性）

男性 罹患数 (2019年)	1位	2位	3位	4位	5位
	前立腺	大腸	胃	肺	肝臓

男性 死亡数 (2021年)	1位	2位	3位	4位	5位
	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓

国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」

埼玉県のがん対策

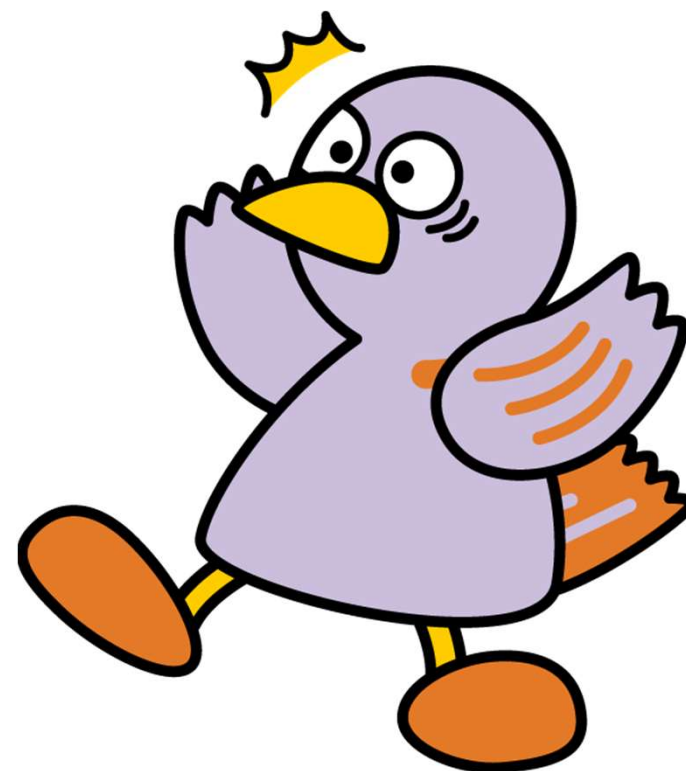
罹患数・死亡数が多い部位（女性）

女性 罹患数 (2019年)	1位	2位	3位	4位	5位
	乳房	大腸	肺	胃	子宮

女性 死亡数 (2021年)	1位	2位	3位	4位	5位
	大腸	肺	膵臓	乳房	胃

国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」

じゃあ
どうしたらいいの？



科学的根拠に基づくがん予防法（国立がん研究センター制定）

- 喫煙 たばこは吸わない。他人のたばこの煙を避ける。
- 飲酒 飲むなら、節度のある飲酒をする。
- 食事 食事は偏らずバランスよくとる。
- 塩蔵食品、食塩の摂取は最小限にする。
- 野菜や果物不足にならない。
- 飲食物を熱い状態でとらない。
- 身体活動 日常生活を活動的に。
- 体形 適正な範囲に。
- 感染 肝炎ウイルス感染検査と適切な措置を。

埼玉県のがん対策

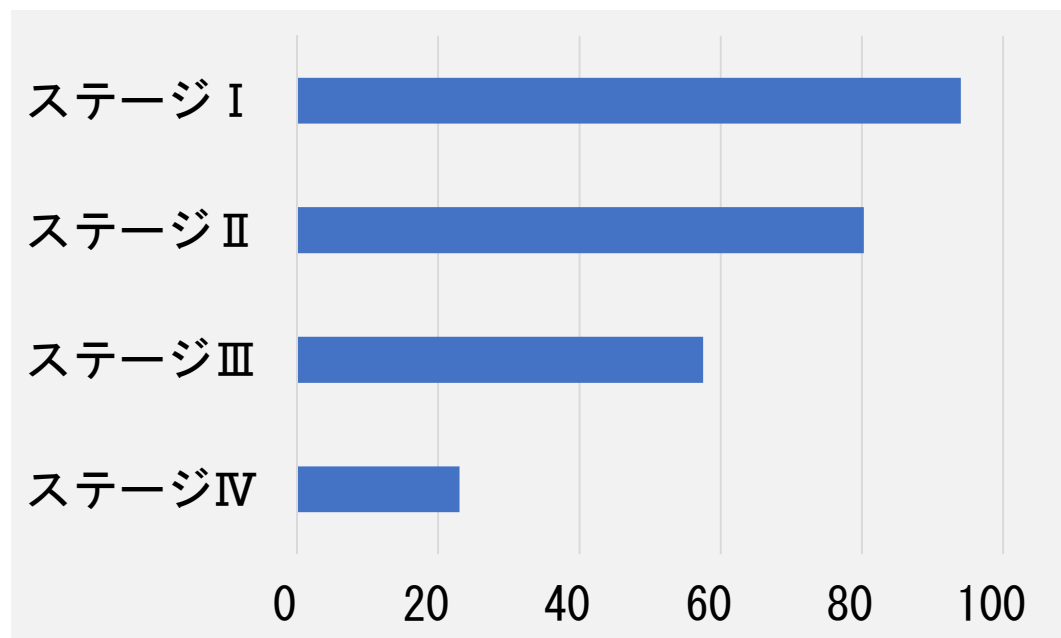
- ▶ **がんの原因になるものへの曝露の機会を可能な限り減らす**
 - でも
がんの原因のうち避けられるものは半分程度
- ▶ **予防できるがんは結構あるが予防できないがんも多い**
 - 予防できないものは、早く見つけるしかない

埼玉県のがん対策

がんは治る病気に

がんは進行するほど治りにくくなる病気です。
多くのがんは早期に発見すれば約9割が治ると言われています。

病期別 全がん5年相対生存率



公益財団法人がん研究振興財団「がんの統計2022」より作成

埼玉県のがん対策

①ならないために

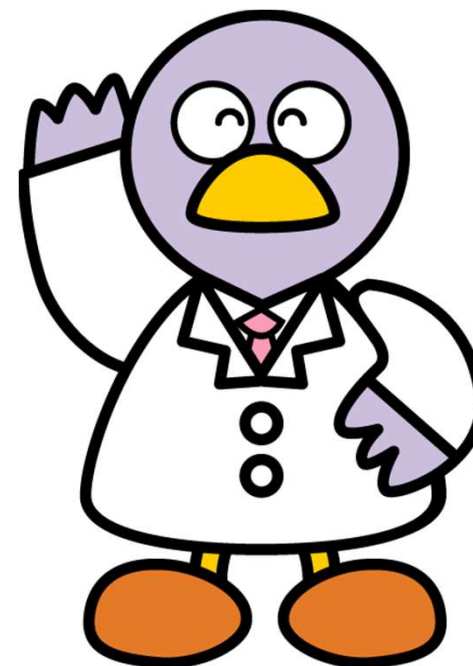
- まず、知っていただく
- 検診受診の勧め

②医療の充実のために

- 中心となる病院とその役割

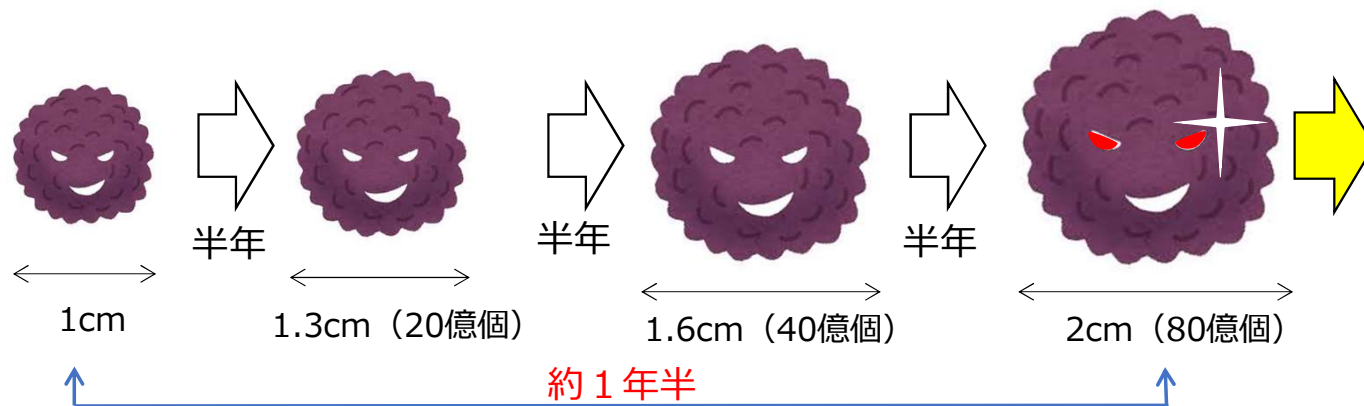
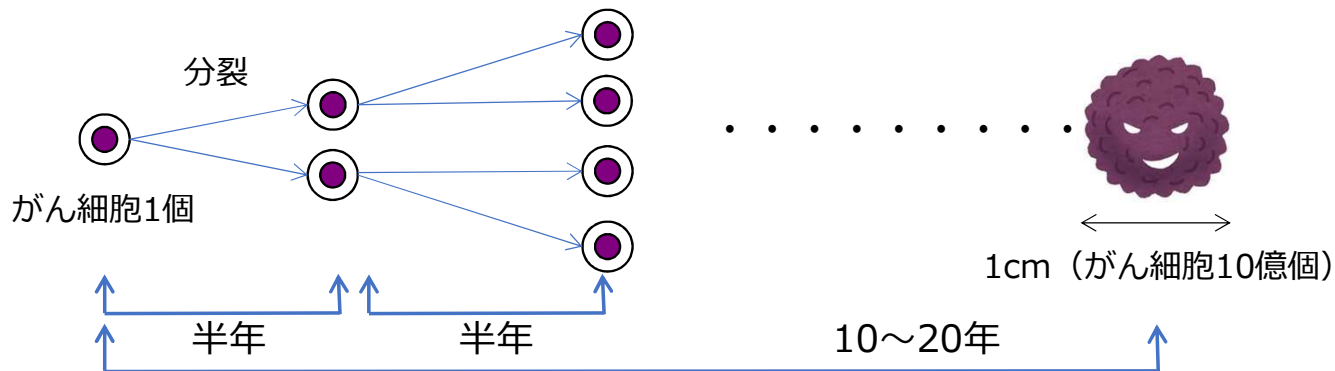
③自分らしく過ごすために

- 治療と仕事の両立支援
- アピアランスケア
- 妊孕性（にんようせい）温存療法



埼玉県のがん対策

定期的な検診でがんを早期発見



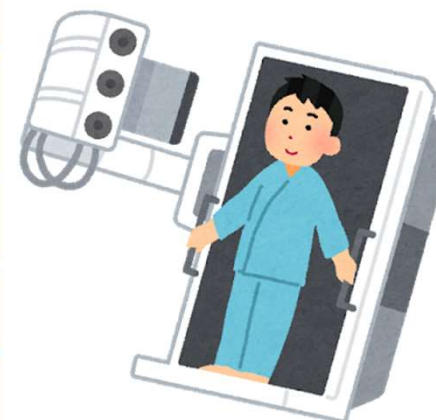
がん検診は、この1年半の間にかんを発見しなくてはならない

これを超えるると転移している
可能性がある

埼玉県のがん対策

科学的根拠に基づくがん検診

胃	問診に加え、胃 X 線または胃内視鏡
	50 歳以上・2 年に 1 回※ ※当分の間、胃 X 線は年 1 回、40 歳以上の実施も可
子宮頸部	問診、視診、子宮頸部の細胞診、および内診
	20 歳以上・2 年に 1 回
乳房	問診及び乳房 X 線（マンモグラフィ）
	40 歳以上・2 年に 1 回
肺	質問（問診）、胸部 X 線と喀痰細胞診（喫煙経験者のみ）
	40 歳以上・年 1 回
大腸	問診及び便潜血検査
	40 歳以上・年 1 回



厚生労働省「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」

埼玉県のがん対策

がん検診を受けるには

市町村での検診

市町村が健康増進法に基づき実施するがん検診

* 市町村の公費負担により、一部の自己負担で受けることができる

職場での検診

企業や健康保険組合等が実施する職場等で受けるがん検診

* 被扶養者の方も受けられる場合がある

任意の検診

医療機関などが任意で実施する人間ドック等で受けるがん検診

* 基本的には、全額自己負担

埼玉県のがん対策

がん検診受診率

埼玉県民はどのくらいがん検診を受けているのか？

	胃がん	肺がん	大腸がん	乳がん	子宮頸がん
全国	41.9%	49.7%	45.9%	47.4%	43.6%
埼玉	37.6% (全国42位)	45.9% (全国38位)	43.0% (全国38位)	42.5% (全国41位)	38.2% (全国45位)

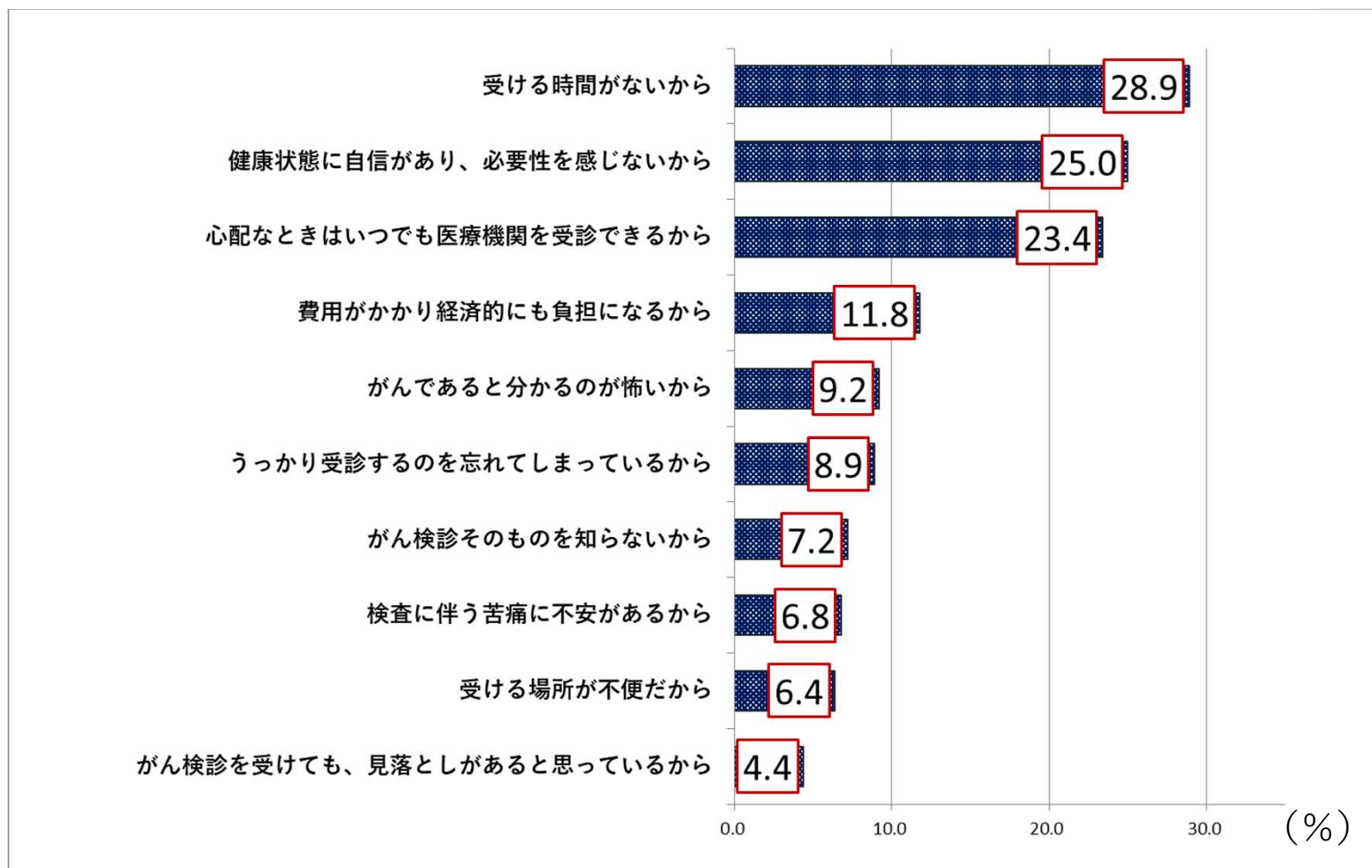
(令和4年国民生活基礎調査)



全国的に見ると埼玉県の受診率は低い

埼玉県のがん対策

がん検診を受けない理由



令和元年度がん対策・たばこ対策に関する世論調査（内閣府大臣官房政府広報室）

埼玉県のがん対策

がん検診受診率向上に向けた取組

- 広報
- かかりつけ医からの個別受診勧奨
- 企業との連携 etc



埼玉県のがん対策

がんの普及啓発

9月 がん征圧月間



10月 ピンクリボン



10月はピンクリボン月間です

乳がん検診を受けてね！トント

乳がんは、早期発見・早期治療で90%以上の人が助かることができます。

40歳以上の方は定期的に受診しましょう！
お住まいの市町村・職場の検診・人間ドックなどで受けられます。

お問い合わせ先
埼玉県健康福祉局がん対策課
〒330-0801 さいたま市中央区
TEL 048-833-3311
E-MAIL 4399-06@pref.saitama.lg.jp

ピンクリボン運動を支援します

ピンクリボンライต์アップ

県内でのイベント

埼玉県のがん対策

がんの普及啓発 がん検診チラシ

がん検診で先手を打つ!
— 早期発見が大切です —

がんにかかると 2人に1人
一生のうちにかかるリスク（推計値）
男性の罹患リスク…65.5%
女性の罹患リスク…50.2%
*がんに罹患する確率（2017年データに基づき）
*国立がん研究センターがん対策センターより

がんで亡くなる人 3人に1人
全国、埼玉県ともに、亡くなる方の3分の1は、
がんで病歿。県内では年間約24,000人の
方が亡くなりました。
*最新がん 埼玉県人口動態報告（2020）

がん治療の決め手は、早期発見です。

日本人に多いがんの1つである**胃がん**の
場合、病期がステージ1であれば、
5年相対生存率は**97.2%**です。
*がんの闘争 10（10月号）がん対策特別号より
*がんの闘争 10（10月号）がん対策特別号より

がん検診はどこで受けられるの？
お住まいの**市町村**や
職場での検診があります。
*がん検診は、通常の健康診断とは別に受診が必要です。
*職場でがん検診を受ける機会がない方は、お住まいの
市町村に早速、問い合わせをしましょう。

埼玉県 がん検診 検票

忘れず がん検診 チェック

2人に1人が
がんに罹る可能性がありますが
早期発見で約9割が治癒します。

がん **検診**

がん検診

問合せ先
埼玉県保健医療部 疾病対策課 がん対策担当 Tel:048-830-3599

計画的な健診(検診)の受診を
Planned Medical Checkup

がん検診 Cancer Screening
特定健診 Specific Health Examination
歯科健診 Dental Screening

医療機関では、新型コロナウイルス感染症への
適切な感染対策を行った上で、健診(検診)を実施しています。

〒300-8585 埼玉県さいたま市大宮区大宮1-1-1
埼玉県医師会 埼玉県歯科医師会 埼玉県薬剤師会
全国健康保険協会埼玉支部 埼玉県

埼玉県のがん対策

①ならないために

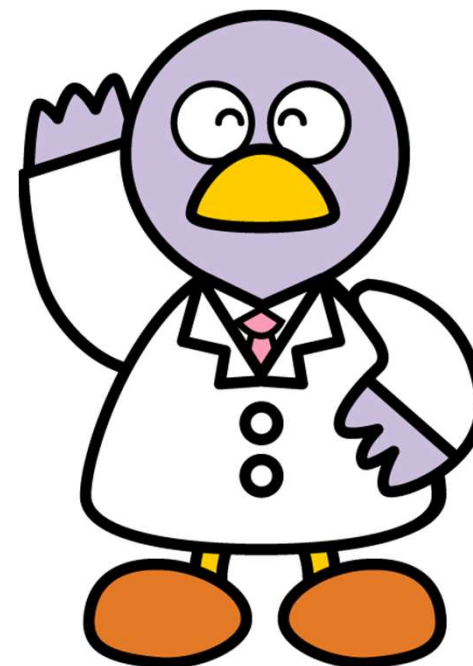
- ・まず、知っていただく
- ・検診受診の勧め

②医療の充実のために

- ・中心となる病院とその役割

③自分らしく過ごすために

- ・治療と仕事の両立支援
- ・アピアランスケア
- ・妊孕性（にんようせい）温存療法

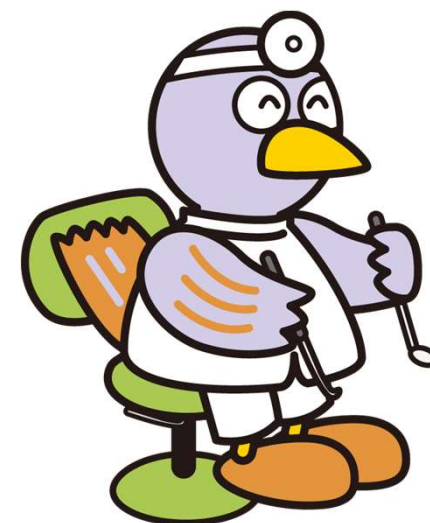


埼玉県のがん対策

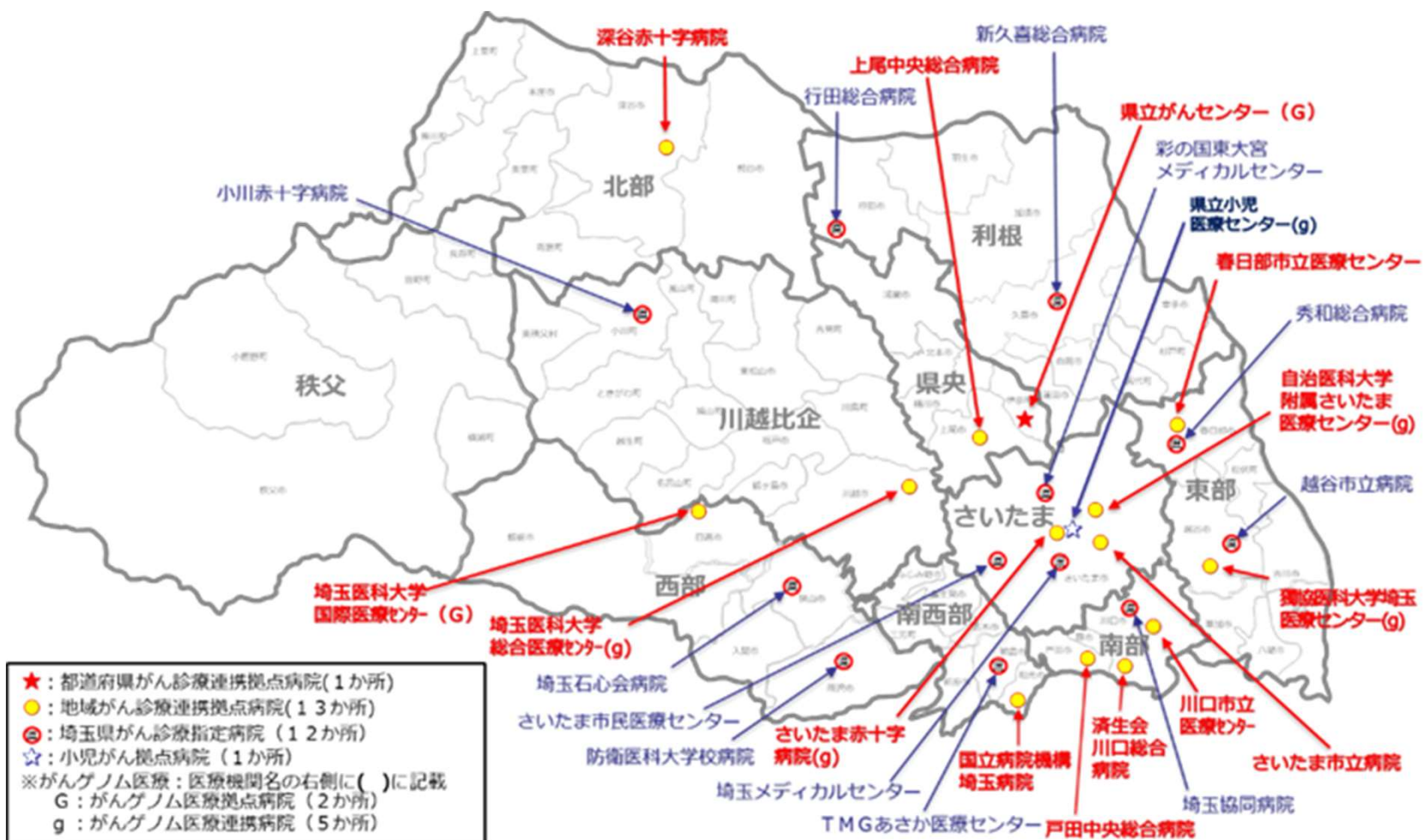
がん医療提供体制の整備

県内どこでも「質の高いがん医療」の提供を目指し、がんに関する専門的な手術や放射線治療など、高い医療機能を有する中核的な医療機関体制の整備を進めています。

- がん診療連携拠点病院（国指定） 14か所
- 埼玉県がん診療指定病院（県指定） 12か所
- 小児がん拠点病院 1か所
- がんゲノム医療拠点病院 2か所
- がんゲノム医療連携病院 5か所

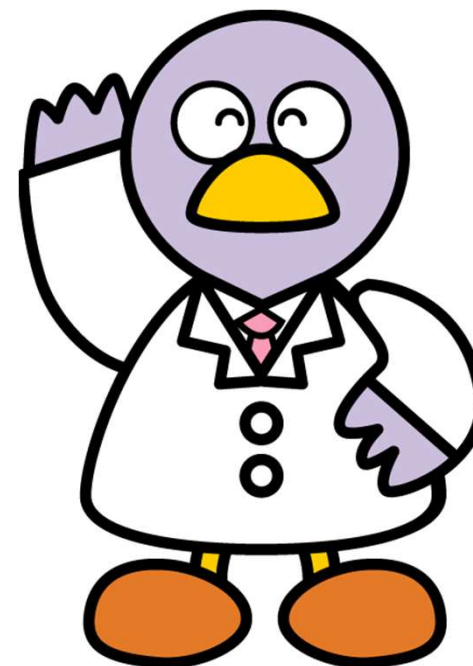


埼玉県のがん対策



埼玉県のがん対策

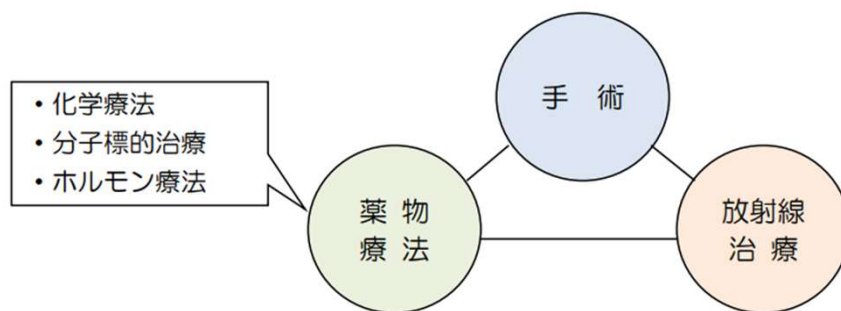
- ①ならないために
 - ・まず、知っていただく
 - ・検診受診の勧め
- ②医療の充実のために
 - ・中心となる病院とその役割
- ③自分らしく過ごすために
 - ・治療と仕事の両立支援
 - ・アピアランスケア
 - ・妊孕性（にんようせい）温存療法



埼玉県のがん対策

治療と仕事の両立支援

◆ がん治療は「入院」から「外来」へ



◆ 働きながらがん治療を行う人は増加傾向

- 新規罹患者の1 / 3は就労世代（20～64歳）
- 就労者の高年齢化で、今後一層増加が予想される



埼玉県のがん対策

がんワンストップ相談



彩の国
埼玉県

働くあなたのために



埼玉県マスコット
「コバトン&さいたまっち」

看護師・医療ソーシャルワーカー・両立支援促進員があなたのご相談を伺います。

がんワンストップ 相談

相談無料

18:15~20:15

最終受付 19:45

事前予約制

※当日でも予約に空きがあれば
相談可能です。



埼玉県のがん対策

①ならないために

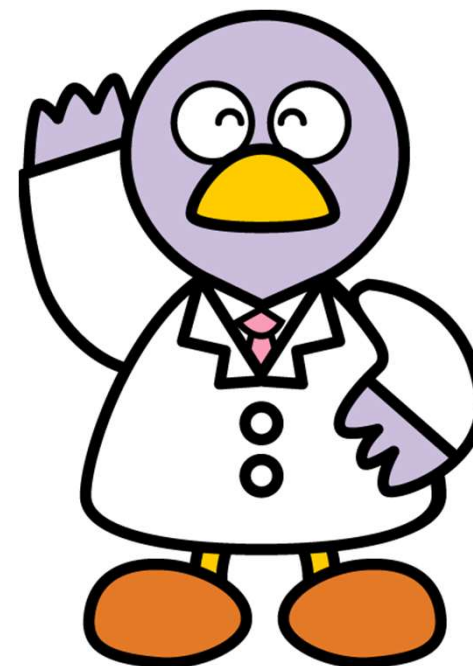
- まず、知っていただく
- 検診受診の勧め

②医療の充実のために

- 中心となる病院とその役割

③自分らしく過ごすために

- 治療と仕事の両立支援
- **アピアランスケア**
- 妊孕性（にんようせい） 温存療法



埼玉県のがん対策

アピアランスケアとは

- Appearance Care

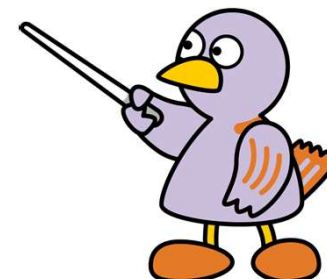
Appearance = 外観・外見

Care = 手当・世話・ケア

⇒ 医学的・整容的・心理社会的支援を用いて
外観の変化を補完し
外見の変化に起因する
がん患者の苦痛を軽減するケア

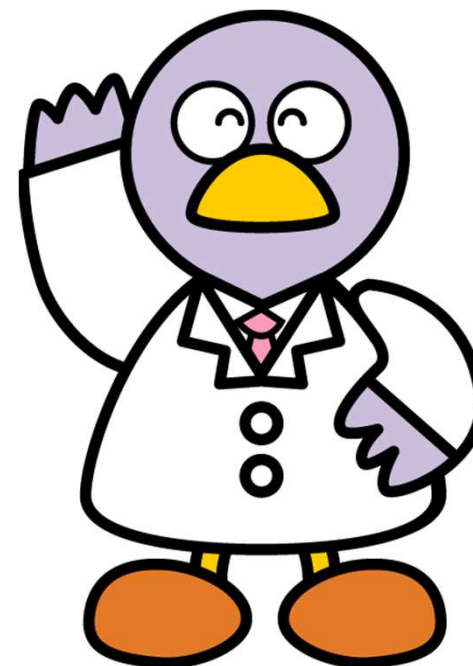
【県の取組】

医療従事者向け研修の実施



埼玉県のがん対策

- ①ならないために
 - ・まず、知っていただく
 - ・検診受診の勧め
- ②医療の充実のために
 - ・中心となる病院とその役割
- ③自分らしく過ごすために
 - ・治療と仕事の両立支援
 - ・アピアランスケア
 - ・妊孕性（にんようせい）温存療法



埼玉県のがん対策

妊孕性とは

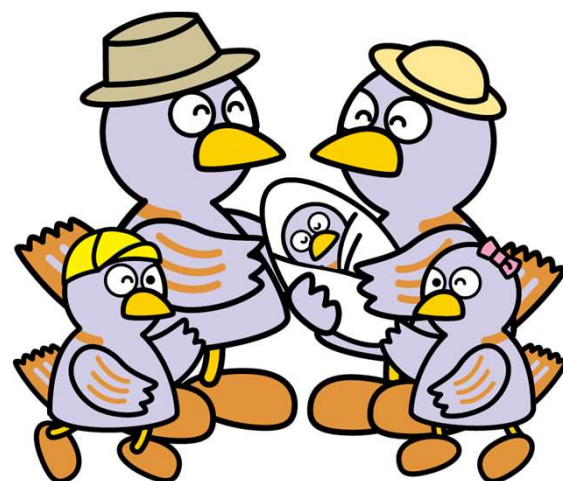
妊：胎児をやどす。はらむ。みごもる。

孕：はらむ。みごもる。妊娠する。

性：物事の性質・傾向。

⇒妊娠するための力があること

「妊孕性の温存」＝「妊娠するための力を蓄えておくこと」



埼玉県のがん対策

妊孕性（にんようせい）温存療法とは

化学療法や放射線療法により生殖機能が損なわれることがあるため、精子、卵子等を凍結保存して、不妊に対処する治療のこと。

不妊治療における治療と同様の医療技術であり、男性の精子凍結保存であれば、3～5万円程度

一方、精巣内精子採取術や卵子凍結、卵巢組織凍結といった高い医療技術を要する治療法になると30～60万円と高額になる



(厚生労働省 第2回小児・AYA世代のがん患者等に対する妊孕性温存療法に関する検討会 資料より抜粋)

埼玉県のがん対策

県による1回当たり助成上限額

妊孕性温存療法

(精子、卵子等を凍結保存)

胚(受精卵)凍結に係る治療

35万円

未受精卵子凍結に係る治療

20万円

卵巣組織凍結に係る治療(組織の再移植を含む)

40万円

精子凍結に係る治療

2万5千円

精巣内精子採取術による精子凍結に係る治療

35万円

温存後生殖補助医療

(凍結した検体を用いた医療)

凍結した胚(受精卵)を用いた生殖補助医療

10万円

凍結した未受精卵子を用いた生殖補助医療

25万円

凍結した卵巣組織再移植後の生殖補助医療

30万円

凍結した精子を用いた生殖補助医療

30万円

本日の説明

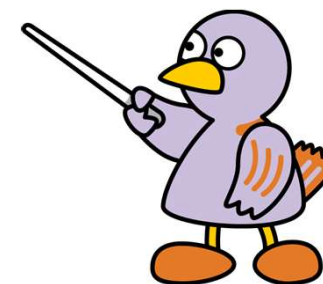
- がん対策



- 心疾患・脳血管疾患（循環器病）対策



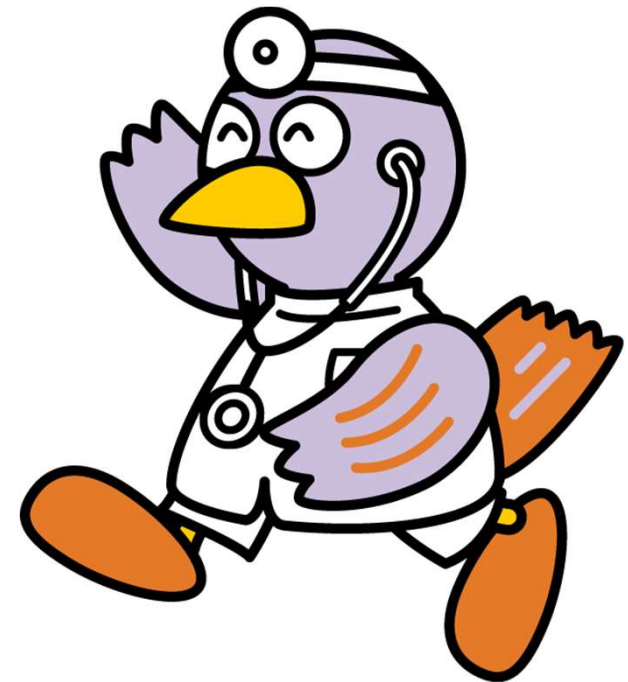
- 指定難病対策



コバトン

埼玉県の循環器病対策

- ①ならないために・重症化を防ぐために
 - ・まず、知っていただく
- ②医療の充実のために
 - ・医療体制の整備
- ③不安解消のために
 - ・相談体制の整備



埼玉県の循環器病対策

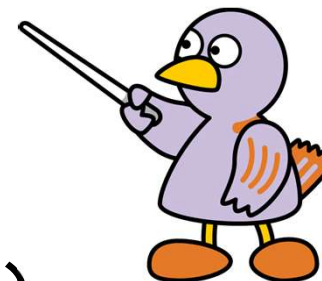
循環器病とは

脳血管疾患

- 虚血性脳卒中（脳梗塞）
- 出血性脳卒中（脳内出血、くも膜下出血など）
- 一過性虚血発作 など

心疾患

- 虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞など）
- 心不全 ▪ 不整脈
- 弁膜症（大動脈弁狭窄症、僧帽弁逆流症など） など



埼玉県の循環器病対策

循環器病の特徴（全国）

死亡原因の第2位

- ・ 心疾患は第2位、脳血管疾患は第4位で
両者を合わせるとがんに次ぐ第2位（「人口動態統計」厚生労働省）

急病による救急出動件数の第1位

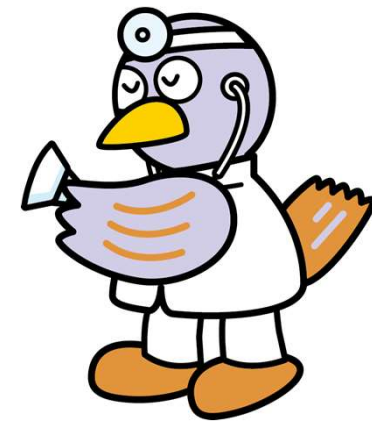
- ・ 全体の16.3%（「救急・救助の現況」総務省消防庁）

介護が必要になった原因の第1位

- ・ 全体の20.6%（「国民生活基礎調査」厚生労働省）

医療費の第1位

- ・ 全体の19.2%（「国民医療費」厚生労働省）



埼玉県の循環器病対策

県の取組

激しい頭痛やそのサイン… 


脳卒中 かもしれません

F  Face (顔) <ul style="list-style-type: none">● 片方の目が見えない● モノが2つに見える● 視野の半分が欠ける	A  Arm (腕) <ul style="list-style-type: none">● 片方の手足・顔半分の麻痺● しびれ● 力はあるのに立てない● 歩けない● ふうふうする
S  Speech (言葉) <ul style="list-style-type: none">● ろれつが回らない● 言葉が出ない● 人の言うことが理解できない	T  Time (時間) <p>症状がでた時刻を確認 合言葉は「FAST」</p>

このような症状が突然現れたら
救急車を呼ぶなどすぐに病院へ
早い治療で後遺症の可能性も下がります

そのサイン… 

狭心症・心筋梗塞 大動脈解離 かもしれません



- 突然起こった胸の痛み
- 胸が押さえつけられ締め付けられるような症状
- 胸が焼ける症状
- 腕・肩・歯・あごの痛み

このような症状が突然・激しく現れたら
早めに医療機関を受診しましょう

すぐに治まらないようなら救急車！
早い治療が重要です

埼玉県の循環器病対策

県の取組

よくわかる

心不全ガイドブック

埼玉県のマスコット
「コバトン」と「あひまっち」

彩の国埼玉県

県民公開講座

彩の国埼玉県

脳卒中・心臓病

令和5年 **12/9** 日

13:00~15:30

参加費:無料

～発症後の生活や仕事との両立～

脳 13:05~	脳卒中の発症と発症後の二次予防 脳卒中対策委員会 脳神経科新アレンシア東戸田 橋本 伏原 藤司 他	脳卒中リハビリテーション 埼玉医科大学国際医療センター リハビリテーション科 高橋 秀寿 他
心臓 13:55~	心臓病にかかったら日常生活はどう変わる? 埼玉医科大学国際医療センター 心臓病科 中野 信太郎 他	心臓リハビリテーション 埼玉医科大学国際医療センター リハビリテーション科 田中 尚文 他
両立支援 14:45~	脳卒中の職場支援の支援 埼玉医科大学国際医療センター 脳神経科 社会福祉士 田村 真子 他	心臓病の職場支援の支援 埼玉医科大学国際医療センター 脳神経科 社会福祉士 森谷 知子 他
		ハローワークで行う両立支援 ハローワーク野沢 野沢南支店 脳神経科リハビリテーション科 山下 美和 他

場 所 ウェスタ川越 1F 多目的ホールCD
川越市新宿町1-17-17 30分(駅から徒歩5分)
※公共施設内でお申し込みください

場 所 埼玉県民 県内在住のどなたでも(会場定員100人先着)

場 所 埼玉県疾病対策課 総務・疾病対策担当
TEL.048-830-3598

方 法 会場、YouTubeによる
ライブ配信・アーカイブ配信

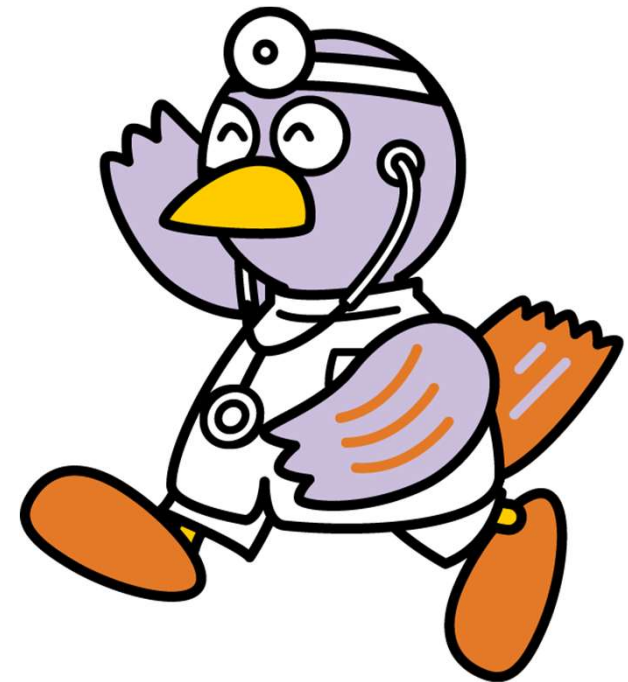
申 込 Googleフォーム
締切12月8日
定数があれば
先着順

埼玉医科大学国際医療センター
公務局庶務課 TEL.042-978-7137

共 催:埼玉県 / 埼玉医科大学国際医療センター
後 援:一般社団法人埼玉県医師会 / 公益社団法人日本脳卒中協会埼玉支部 / 一般社団法人日本循環器学会埼玉支部

埼玉県の循環器病対策

- ①ならないために・重症化を防ぐために
 - まず、知っていただく
- ②医療の充実のために
 - 医療体制の整備
- ③不安解消のために
 - 相談体制の整備



埼玉県の循環器病対策

県の取組

医療体制の整備

【脳血管疾患】

埼玉県急性期脳卒中治療ネットワークの整備

(SSN:Saitama Stroke Network)

急性期脳梗塞治療（t-PA療法又は血栓回収療法）を実施可能な医療機関を確保し、脳卒中治療に係る搬送体制を整備。

一次脳卒中センターとの連携

(PSC:Primary Stroke Center)

地域の医療機関や救急隊からの要請に対して、24時間365日脳卒中患者を受け入れ、患者搬入後可及的速やかに診療（t-PA療法を含む）を開始できる施設。

埼玉県の循環器病対策

県の取組

医療体制の整備

【心疾患】

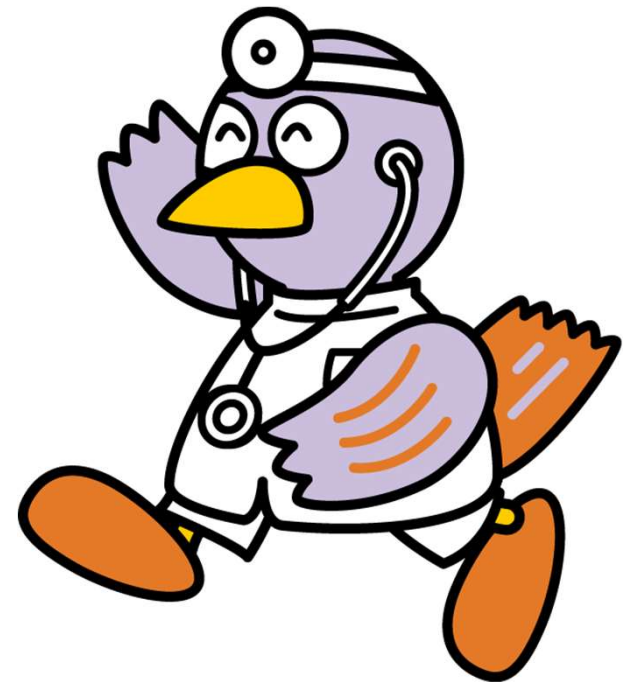
大動脈緊急症治療ネットワークの整備

(SAN:Saitama Aortic Dissection and Aortic Aneurysm Network)

- ・ 大動脈緊急症治療を必要とする傷病者を迅速・円滑に受け入れるための医療機関と消防機関が連携する仕組み
- ・ 大動脈緊急症治療が可能な医療機関相互の連携を強化する仕組み

埼玉県の循環器病対策

- ①ならないために・重症化を防ぐために
 - まず、知っていただく
- ②医療の充実のために
 - 医療体制の整備
- ③不安解消のために
 - 相談体制の整備



埼玉県の循環器病対策

脳卒中・心臓病等総合支援センター 開設のご案内

脳卒中・心臓病等総合支援センター開設について

厚生労働省の令和5年度事業として全国15府県(埼玉県では埼玉医科大学国際医療センター)に脳卒中・心臓病等総合支援センターが開設されました。

国際医療センターでは埼玉県の循環器病対策推進計画と連携して本事業を推進します。

事業の主な内容は脳卒中、心臓病等に対する相談窓口の設置、埼玉県民を対象とした情報提供や普及啓発、かかりつけ医と医療従事者に向けた研修会の実施、啓発資材の開発などです。

脳卒中・心臓病等総合支援センター開設に伴い、専用のホームページを公開しましたのであわせてご利用ください。



脳卒中・心臓病等総合支援センター
<https://saitama-hokatsu.com/nou-shin/>

相談窓口について **相談無料**

相談窓口では医師、薬剤師、管理栄養士、リハビリテーションスタッフ、医療ソーシャルワーカー、脳卒中・心臓病等担当看護師が、脳卒中や心臓病等で悩んでいる患者さんとご家族の生活上の注意点、療養場所、後遺症や仕事と治療のことなど、様々な疑問や不安に対し、お話を聞かせていただき、悩みに応じた解決策と一緒に考えていく支援を行っています。

《お問い合わせは
便利なWebをご利用ください》



こちらの二次元コードを
読み取り、相談フォームに
ご入力ください

《お電話の方はこちら》

受付時間

8:30~17:00

(日・祝日・年末年始を除く)

患者コールセンター

☎042-984-0608

埼玉医科大学国際医療センター

〒350-1298

埼玉県日高市山根1397-1

総合支援センター開設のご案内

「脳卒中相談窓口」

「心臓病相談窓口」の開設

相談方法：来院・電話・Web

脳卒中・心臓病等総合支援 センター専用HPの開設

→ **便利なWebでの相談**を広く推奨

(患者・家族、医療・介護関係者からの
問い合わせにも対応します)

本日の説明

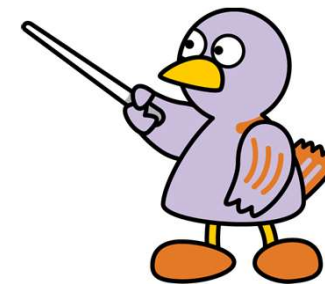
- **がん対策**



- **心疾患・脳血管疾患（循環器病）対策**



- **指定難病対策**



コバトン

埼玉県の指定難病対策

指定難病とは何か

難病

- 発病の機構が明らかでなく
- 治療方法が確立していない
- 希少な疾病であって
- 長期の療養を必要とするもの

患者数等による限定は行わず、他の施策体系が樹立されていない疾病を幅広く対象とし、調査研究・患者支援を推進

例: 悪性腫瘍は、がん対策基本法において体系的な施策の対象となっている

指定難病

難病のうち、以下の要件の全てを満たすものを、患者の置かれている状況からみて
良質かつ適切な医療の確保を図る必要性が高いものとして、厚生科学審議会の意見を聴いて厚生労働大臣が指定

- 患者数が本邦において一定の人数(注)に達しないこと
- 客観的な診断基準(又はそれに準ずるもの)が確立していること

(注)人口のおおむね千分の一(0.1%)程度に相当する数と厚生労働省令において規定している。

医療費助成の対象

埼玉県の指定難病対策

受給者数の推移

区分	H28年度末	H29年度末	H30年度末	R元年度末	R2年度末	R3年度末	R4年度末
受給者数	48,333	44,820	38,161	39,730	43,710	43,115	43,918
うち新規	6,726	6,390	5,860	5,893	5,469	7,347	7,912

※受給者数は、先天性血液凝固因子障害を除く。

受給者数の多い疾患

- ・ 第1位 潰瘍性大腸炎 6,723人
- ・ 第2位 パーキンソン病 5,270人
- ・ 第3位 全身性エリテマトーデス 3,109人
- ・ 第4位 クロウン病 2,126人
- ・ 第5位 全身性強皮症 1,376人
- ・ 第6位 重症筋無力症 1,289人
- ・ 第7位 後縦靭帯骨化症 1,211人

【受付窓口】

住所地を管轄する保健所

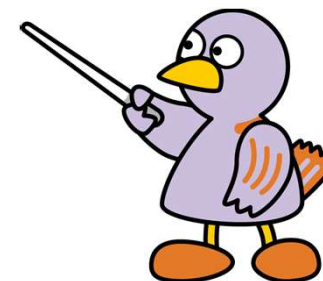
★令和5年度から

年に一度の更新については、
継続申請受付センターを設置
(令和5年6月から9月まで)

最後に

事業実施に当たって設置している協議会

- 埼玉県がん対策推進協議会
- 埼玉県循環器病対策推進協議会
- 埼玉県難病医療連絡協議会
- 埼玉県自殺対策連絡協議会
- 埼玉県アルコール健康障害対策推進会議
- 埼玉県肝炎対策協議会
- 埼玉県アレルギー一疾患医療連絡協議会



ご清聴
ありがとうございました

